

リサーチ&コンサルティングユニット

Research & Consulting Unit

事業内容

グループ内のリサーチ機能とコンサルティング機能が結集した専門家集団“Oneシンクタンク”として、経営・財務・事業戦略や事業・資産承継、ITシステム等のお客さまの課題解決や、環境・エネルギー、インフラ、ヘルスケア等の社会課題の解決に役立つソリューションを提供しています。

専門家集団としてさまざまな新たな領域に挑戦していくとともに、〈みずほ〉内での連携を一層強化することにより、Oneシンクタンクは「価値創造の“起点”」として、お客さまと社会の発展へのプロアクティブな貢献を目指していきます。

提供する価値

「お客さま」に提供する価値

- 上流から下流まで、マクロ経済、産業、テクノロジーなどを掛け合わせた包括的なソリューションを提供し、お客さまの成長モデルの具体化に貢献
- 邦銀最大の法人会員組織を戦略的に再編し、中堅・中小企業やオーナー経営者等、幅広いお客さまに対して網羅的に知見・ノウハウを提供

「社会」に提供する価値

- Oneシンクタンクの専門性を掛け合わせた政策提言やコンサルティング等により、地方創生や少子高齢化、次世代産業の育成に貢献
- 公共政策関連の知見を活用したPPP/PFIアドバイザーにより、社会インフラ・環境問題に国内外で貢献
- 経済社会の動向から産業の構造変化、環境・社会保障・IT等の個別分野にわたる高度な知見・ノウハウを掛け合わせたレポート発信やフォーラム開催により、社会の課題解決に有益な情報を提供

アクションプラン

- Oneシンクタンクを起点とする〈みずほ〉のバリューチェーンの構築
- 拡大を続けるお客さまからのニーズに効果的・効率的に応えるべく、ユニット内の機能の戦略的な強化・一体運営を加速
- お客さまと〈みずほ〉がともに成長し続けるための情報・機会創出コミュニティサイトとしての「MIZUHO Membership One（通称MMOne）」の本格展開

TOPIC 社会的課題の解決に向けた取り組み

「高齢化と金融」に関する政策提言やみずほ総研コンファレンスの開催

みずほ総合研究所は2018年6月に「みずほ総研コンファレンス「超高齢社会における金融とビジネス」」を開催しました。

みずほ総合研究所では、超高齢社会への対応として、人生で必要な資金の「見える化」の促進等、5項目を提言しており、コンファレンスでは、有識者と活発な議論を行いました。

また、金融審議会「市場ワーキング・グループ」にも参画し、「高齢社会における金融サービスのあり方」等、「国民の安定的な資産形成」に向けた議論を行っています。



食の安全に向けたブロックチェーンを用いた概念実証（PoC）の実施

みずほ情報総研は、ブロックチェーンを用いた個品管理プラットフォームの構築を目指す概念実証を大手コンビニエンスストアと共同で実施しました。

コンビニエンスストアで扱う食品のサプライチェーンに関する情報を集約するこのプラットフォームを構築することで、消費者等が食品の品質に関する情報を手軽に確認できるようになり、食の安全確保等につなげていくことが可能となります。

みずほ情報総研ではブロックチェーンをはじめとした新技術を活用することで、さまざまな社会的課題の解決に取り組んでいきます。